

あま市 国・県・市指定文化財

国指定文化財(重要文化財)

種別	名称	員数	時代	指定年月日	所在地	所有者・管理者
建造物	甚目寺南大門	1棟	建久7年(1196)	S25.8.29	甚目寺東門前24	甚目寺
建造物	甚目寺三重塔	1棟	寛永4年(1627)	S28.11.14	甚目寺東門前24	甚目寺
建造物	甚目寺東門	1棟	寛永11年(1634)	S28.11.14	甚目寺東門前24	甚目寺
絵画	絹本着色不動尊像	1幅	平安時代	M34.3.27	東京国立博物館(寄託)	甚目寺
絵画	絹本着色仏涅槃図	1幅	鎌倉時代	M34.3.27	東京国立博物館(寄託)	甚目寺
彫刻	鉄造地藏菩薩立像	1軀	寛喜2年8月(1230)	S46.6.22	中橋郷中16	法蔵寺
彫刻	木造愛染明王坐像 像内に合子入り愛染明王坐像を納める	1軀	弘安4年(1281)	H24.9.6	甚目寺東門前24	甚目寺

愛知県指定文化財

種別	名称	員数	時代	指定年月日	所在地	所有者・管理者
絵画	金剛界及び胎藏界曼荼羅	各1幅	鎌倉時代	S33.3.29	蜂須賀大寺1352	蓮華寺
絵画	田中訥言画蹟 郭公の図、蝦蟇の図、襖絵夕影山の図	3点	江戸末期(1800年頃)	S33.6.21	甚目寺東門前24	釈迦院
彫刻	木造仏頭	1軀	平安時代	S33.3.29	蜂須賀大寺1352	蓮華寺
彫刻	木造仁王像	2軀	慶長2年(1597)	S33.6.21	甚目寺東門前24	甚目寺
工芸	瑞花双鸞八稜鏡	1枚	平安時代(伝白鳳時代)	S40.5.21	甚目寺東門前24	甚目寺
工芸	梵鐘	1口	建武4年(1337)	S40.5.21	甚目寺東門前24	甚目寺
書跡	法華経 紫紙鎌倉版	8巻	室町時代	S33.3.29	蜂須賀大寺1352	蓮華寺
名勝	蓮華寺庭園		室町時代	S40.5.21	蜂須賀大寺1352	蓮華寺
天然記念物	下萱津のフジ		樹齢約350年	S29.3.12	下萱津未見取1130-42	あま市
天然記念物	遠島八幡神社のラカンマキ		樹齢約350年	S30.6.3	七宝町遠島宮西	八幡神社
天然記念物	蓮華寺のカヤノキ		樹齢約350年	S33.6.21	蜂須賀大寺1352	蓮華寺

あま市指定文化財

種別	名称	員数	時代	指定年月日	所在地	所有者・管理者
彫刻	金銅阿弥陀如来立像	1軀	明応9年(1500)	H3.12.11	花長川内70	普明院
彫刻	二十五菩薩面	25面	室町～江戸初期	H28.2.25	蜂須賀大寺1352	蓮華寺
工芸	梵鐘	1口	元和4年(1618)	H8.2.1	七宝町桂郷内1608	法光寺
工芸	雲版	1面	宝暦11年(1761)	H12.11.1	七宝町桂郷内1679	廣濟寺
工芸	間取り花鳥文大花瓶	1点	明治30年頃	H27.1.27	七宝町遠島十三割2000	七宝焼アートヴィレッジ
書跡	徳川家康筆 徳政免除證文	1通	永禄7年(1564)	S60.11.8	花正七反地1	美和歴史民俗資料館
書跡	跡 跡諸相伝名目	1通	享保11年(1726)	H1.11.10	花正七反地1	美和歴史民俗資料館
歴史資料	尾州海東郡富塚村御縄打水帳	3冊	慶長13年(1608)	S62.2.2	花正七反地1	美和歴史民俗資料館
有形民俗	甚目寺説教源氏節人形および正本 その関連資料	人形18体、正本81冊、音源テープ5点、紙媒体(冊子・ポスター)11点、写真160点	明治初年～昭和40年頃	H31.1.24	甚目寺東大門8	甚目寺歴史民俗資料館
無形民俗	香の物祭		毎年8月21日実施	S60.4.22	上萱津車屋19	萱津神社
無形民俗	下之森オコワ祭		毎年2月11日実施	H24.10.22	七宝町下之森屋敷662	下之森地区
無形民俗	木田八郎社湯の花神事		毎年10月第2日曜日実施	H24.10.22	木田宮東16	木田地区
無形民俗	二十五菩薩お練り供養		毎年4月第3日曜日実施	H28.2.25	蜂須賀大寺1352	蓮華寺
史跡	甚目寺境内地		甚目寺遺跡	S59.3.1	甚目寺東門前24	甚目寺
史跡	七宝焼原産地道標	1基	明治28年(1895)	H12.11.1	七宝町安松南辻田	あま市

国登録文化財

種別	名称	員数	時代	指定年月日	所在地	所有者・管理者
建造物	實成寺本堂	1棟	江戸前期	H17.2.9	中萱津南宿254	實成寺
建造物	實成寺山門	1棟	江戸中期	H17.2.9	中萱津南宿254	實成寺

あま市 文化財マップ



歴史ある古刹の門前町 甚目寺地区

尾張四観音のひとつとして親しまれている甚目寺観音は6世紀末の創建と伝えられ、鎌倉時代に作られた重要文化財である南大門をはじめとする文化財の宝庫です。また、平安京と鎌倉を繋いでいた鎌倉街道には日本で唯一の漬物の神社である萱津神社など、多くの神社仏閣が建ち並びます。



2 甚目寺南大門

こけら葺、三間一戸楼門、入母屋造で国指定文化財。建久7年(1196)梶原景時が奉行として再建したという。門内の木造仁王像は愛知県指定文化財で、戦国武将福島正則の寄進による。



4 上街道道標

甚目寺観音南大門前に立つ道標。道標の北側に「つしまみち」、東側には「さ屋まじま道」、西側に「門内なごやへ通りぬけ」と刻まれている。安政3年(1856)願主杉屋左助の銘がある。



5 漆部神社

漆部(ぬりべ)神社は漆を扱う部族の神社と推定され、室町時代の再建といわれている。長い歴史の中で、八大明神と称された時もあったが、昭和中期に漆部神社となった。

甚目寺東門前10、甚目寺駅より徒歩5分

1 甚目寺観音(鳳凰山甚目寺)

推古天皇5年(597)伊勢の甚目(はだめ)龍麻呂という漁師が海中より紫金の聖観音菩薩を網にかけ、甚目寺と名付けておまつりしたという。境内地は市指定史跡。
甚目寺東門前24(駐車場)有(10台・参拝者用)
甚目寺駅より徒歩5分



3 甚目寺東門

銅板葺、四脚門、切妻門造で国指定重要文化財。上街道(津島街道)に直面している。街道は清洲の須ヶ口で美濃路と分かれ甚目寺観音に至り、木田を通り津島へと向かう。

6 小町塚

小野小町(生没年不詳)が東国へ下る途中、この新居屋で亡くなったという伝説がある。



新居屋久洲郷117付近、七宝駅より徒歩15分



9 法性寺

法性寺(ほっしょうじ)の寺伝では、天智天皇勅願の道場であり、一山十二坊の大伽藍であったという。甚目寺とともに古刹のひとつである。

善左屋敷68、七宝駅より徒歩17分



12 萱津神社

農業の神である鹿屋野比売(かやのひめ)を祀ったのが萱津神社の始まりという。萱津神社のあたりは「あわでの杜」と呼ばれており、日本武尊と宮簀媛の悲恋の舞台となった伝説の地である。
上萱津屋敷19、(駐車場)有(5台・参拝者用)
須ヶ口駅より徒歩17分



15 妙勝寺

創建は弘長元年(1261)といわれている。庫裏(くり)は文禄4年(1595)清須城主であった福島正則が城の長屋一棟を寄進したものと伝えられている。山門は鎌倉~室町時代のものという。
上萱津屋敷62、(駐車場)有(10台・参拝者用)
須ヶ口駅より徒歩19分

7 晴明塚

昔、農夫が田の中に繁茂した雑草で困っていたところ、見かねた安倍晴明(921~1005)が祈禱を行い、農夫の功労を救ったという伝説がある。



新居屋清明19付近、七宝駅より徒歩18分



10 清洲飛行場作戦指令室跡

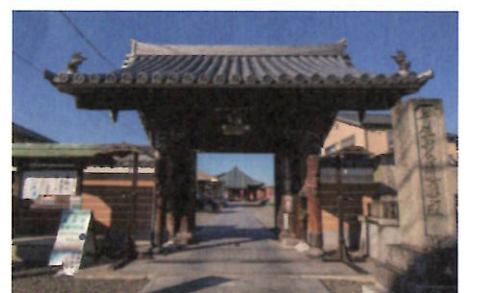
太平洋戦争末期に作られた陸軍の飛行場跡(私有地)。正式には清洲飛行場というが、甚目寺飛行場ともよばれていた。作戦指令室はコンクリート製で半地下式の建物である。

石作北浦、甚目寺駅より徒歩26分



13 香の物祭

毎年8月21日に開催される漬物の神事で、漬物は熱田神宮に奉納される。香の物殿には本邦唯一の漬物の神が祀られている。



16 実成寺と山門

実成寺(じつじょうじ)の創建は元応元年(1319)といわれている。本堂は織田敏定(信長の曾祖父)が改修し、山門は福島正則が寄進したと伝えられている。
中萱津南宿254、(駐車場)有(15台・参拝者用)
須ヶ口駅より徒歩28分



8 新屋神社

日本書記に、宣化天皇元年(536)に物部氏が新屋連(むらじ)を使い、新屋(新居屋)の屯倉(みやけ)の穀物を運んだとされる。

善左屋敷67、七宝駅より徒歩17分



11 元飛行場開拓記念碑

飛行場を再び田畑に戻す開拓事業の終了を記念して開拓記念碑が建てられた。甚目寺公民館駐車場西北にある。ここから北一面に飛行場が広がっていたが、実際には半年ほどしか使用されず、幻の飛行場といわれる。

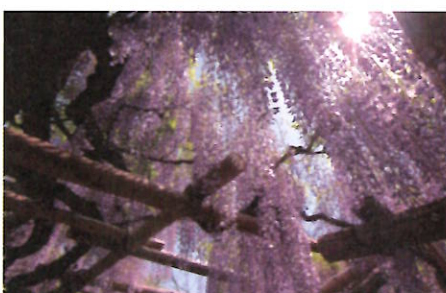
甚目寺二伴田65、甚目寺駅より徒歩10分



14 鎌倉街道

あま市東部を南北に通る旧街道。古くは平安京と鎌倉を繋ぐ重要な幹線道であった。街道沿いには今も多くの寺院が並んでいる。

西今宿郷内二~下萱津替地(約2.8km)



17 下萱津のフジ

新川にかかる萱津橋南側の堤防沿いにある。樹齢は約350年で、錯綜した幹枝が別の生き物のようにも見える。普段は非公開だが、4月に2日間限定で一般公開を行うこともある。

下萱津未見取1130-42、豊公橋【東】バス停より徒歩14分

伝統的工芸品の中心地 七宝地区

七宝焼は、金属の表面にガラス質の釉薬をのせて焼きつけた工芸品で、七種類の宝をちりばめたように美しいという意味で七宝焼と名付けられました。梶常吉が七宝焼の作り方を発見したことから、この地域は江戸末期より七宝焼製造の中心地となり、七宝焼は世界に知られるようになりました。あま市として合併した後でも町名が残っており、ここでは七宝焼に関する文化財を見ることができます。

① 七宝焼アートヴィレッジ

尾張七宝の歴史や製作道具を展示。七宝焼の作品を鑑賞したり製作工程を見学だけでなく、実際に七宝焼製作を体験することもできる。七宝焼製品の販売も。

休館日：月曜・祝日の翌日・年末年始
TEL:052-443-7588
七宝町遠島十三割 2000 (駐車場) 有(100台・無料)
七宝駅より徒歩 25 分



② 間取り花鳥文大花瓶

明治 30 年代作成。遠島の名工である林小傳治の作と伝えられる。高さが約 150cm と、国内最大級の作品で、当時の七宝技術の粋が詰め込まれている。常設展で見学可。七宝焼アートヴィレッジ蔵

常設展示室観覧料：小・中学生 /100 円
高校生以上 /310 円



③ 七宝焼原産地道標

旧佐屋街道（県道名古屋津島線）から遠島へ入る目印として明治 28 年に建立された。当時としては珍しく、上部に「shippoyaki Tushima」とローマ字で刻まれている。

七宝町安松南辻田、七宝町桂バス停より徒歩 3 分



④ 七宝焼起原碑

遠島の八幡神社境内にある。明治 20 年、遠島村をはじめ近隣の村々の七宝焼製造業者の団結の証として建立された。



七宝町遠島宮西、七宝町桂バス停より徒歩 12 分



⑦ 棒の手記念碑

秋竹の直心寺（じきしんじ）には梅村先生遺愛碑と棒の手祖先碑の二碑がある。棒の手は武術の一種で、天保の頃、愛知郡野田村（現名古屋市中川区）の梅村氏によって秋竹に伝えられた。

七宝町秋竹四町田 484 直心寺、七宝町桂バス停より徒歩 3 分



⑩ 廣濟寺

市指定文化財の雲版（うんぱん）がある（非公開）。銘から、尾張藩鎗物師頭水野太郎左衛門家の分家である水野平蔵家第 7 代矩達の子と考えられる。

七宝町桂寺附 1679、(駐車場) 有(5台・参拝者用)
七宝町桂バス停より徒歩 5 分

⑬ 弓掛の松

下田の佐屋街道やや南にある。源義経が兄頼朝の命により京へ向かう途中、軍勢を休ませた際に弓を掛けたといわれている。現在は 5 代目の松。



七宝町下田山 14、七宝病院前バス停より徒歩 5 分

⑤ 林庄五郎翁顕彰碑

七宝焼の秘法を会得し、当地域に広めた先駆者としての功績を称え、組合が中心となり昭和 37 年に遠島の八幡神社境内に建立。

④と隣接する。



⑧ 法光寺梵鐘

元和 4 年(1618) 遠江国周智郡（現静岡県袋井市）村松の神明社に久野城主丹波守宗成より寄進されたものだったが、明治維新の神仏分離により処分され、明治 10 年桂の法光寺に移された。

七宝町桂郷内 1608 法光寺、七宝町桂バス停より徒歩 5 分

⑪ 伊福郷之碑

伊福という地名の経緯やこの地に居住していたとされる伊福部連（むらじ）について記されている。明治 22 年に伊福部御厨（みくりや）旧地碑とともに伊福部神社境内に建立。



七宝町伊福宮東 64 伊福部神社、安松バス停より徒歩 19 分



⑭ 芳春院顕彰札

まつ（前田利家の正室、後の芳春院）の生誕推定地に建つ。まつは篠原主計（かずえ）の子といわれるが、沖之島郷主林常信の子で、篠原主計の養女になったという説もある。

七宝町沖之島北屋敷 7、(駐車場) 有(15台・参拝者用)
七宝駅より徒歩 9 分

⑥ 遠島八幡神社のラカンマキ

遠島の八幡神社境内にある。樹高 13m、枝張東西 11.2m、南北 14m に達した巨樹で、樹齢 300 年以上であることから、愛知県天然記念物に指定されている。



⑨ 桂の六地藏

蟹江合戦で敗走し秋竹で割腹した武士の遺骨を引き取った僧が、その冥福を祈って葬ったという説と、法光寺の開祖が父の卒去に伴い墳墓の傍らに六地藏を安置したという説がある。

七宝町桂六地藏、七宝町桂バス停より徒歩 6 分



⑫ 下之森オコワ祭

毎年 2 月 11 日に下之森の八幡神社に伝承されている神事。お櫃に納められたオコワを、わらで編んだコモの中に入れ、境内の石に叩きつけ容器が壊れると餅状になったオコワを参詣者が奪い合う。厄除けや五穀豊穡を祈願する。七宝町下之森屋敷 662、新家バス停より徒歩 11 分

名だたる戦国武将の出身地 美和地区

豊臣秀吉に仕え、天下統一を支えた蜂須賀小六正勝・福島正則、そして豊臣秀次などの武将がこの美和地区の出身と言われています。福島正則の生誕地、菩提を弔う菊泉院、蜂須賀正勝と息子家政の菩提を弔う蓮華寺など、戦国武将にゆかりのある地が豊富に点在するのがこの地域の特徴です。



② 福島正則公供养塔と遺徳記念碑

菊泉院霊園に福島正則公顕彰会によって、380年祭記念事業として平成15年に供养塔と記念碑が建立されている。顕彰会は正則の命日である7月13日に毎年追善供养を行っている。



⑨ 鉄造地藏菩薩立像（法蔵寺）

同寺の本尊である鉄造地藏菩薩立像は寛喜2年(1230)の銘をもつ、国指定重要文化財。寺伝によれば、蜂須賀正勝が桶狭間の戦いに鉄地藏を持参しようと蓮華寺東門近くからこの地まで動かし、この地に着いたという。

中橋郷中43 [駐車場] 有(5台・参拝者用)
木田駅より徒歩22分



① 菊泉院

鎌倉時代の創建と伝えられる、戦国武将福島正則の菩提寺。正則の位牌、護持仏の毘沙門天立像、肖像画が奉納されている。霊園には正則の供养塔と記念碑がある。
ニツ寺屋敷69 [駐車場] 有(5台・参拝者用)
七宝駅より徒歩26分

⑤ 蜂須賀小六正勝公碑と蜂須賀城跡

豊臣秀吉に仕えた戦国武将蜂須賀正勝の顕彰碑(昭和2年建立)と中世の城館であった蜂須賀城跡の石碑(大正5年建立)。

蜂須賀北本郷、青塚駅より徒歩11分



③ 福島正則生誕地碑

戦国武将福島正則の生誕地。石碑は大正4年に建立されたもの。正則は永禄4年(1595)にこの地で誕生し、石碑の西南に正則の生家があったと伝えられる。

ニツ寺屋敷172、七宝駅より徒歩25分



⑥ 蓮華寺仁王門

蜂須賀正勝・家政の菩提寺。蓮華寺は空海の開基と伝わり、蜂須賀弘法の名で親しまれている。家政は50石の所領を寄進。仁王門は寛永20年(1643)に蜂須賀家より寄進されたと伝わる。

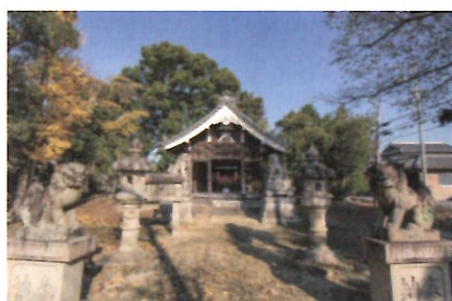
蜂須賀大寺1352 [駐車場] 有(10台・参拝者用)
青塚駅より徒歩11分



⑩ 治水記念碑

天保8年(1837)の五八(ごはち)悪水記念碑。上街道を挟み、上の8ヶ村が排水に苦しみ、下の5ヶ村と水争いが生じた。碑は解決に向けた清洲代官ほか三人の名を刻み、その徳を称えている。

丹波川中、青塚駅より徒歩11分



⑬ 貴船社

戦国武将豊臣秀次ゆかりの神社で、秀次の関白就任と武運長久を祈願し、実父の三好好房(みよしよぶさ・犬山城主)が社殿を造営したと伝えられている。

乙之子屋敷21、木田駅より徒歩25分



④ ニツ寺神明社古墳

あま市唯一の前方後円墳で全長約80m、後円部径約45m・高さ約6m。古墳時代前期の古墳といわれている。この高之宮神明社を慶長15年(1610)に正則が造営したという伝承がある。

ニツ寺屋敷7、七宝駅より徒歩27分



蜂須賀小六正勝の居館跡。蜂須賀城の本丸と思われる中心地に建立されている。蜂須賀城は16世紀前半から17世紀中頃までは城が存在したと考えられている。

蜂須賀北本郷、青塚駅より徒歩10分



⑪ 湯の花神事

木田の八剎社で行われる湯立の神事。拝殿前にクド(カマド)を作り5つの湯釜を据える。神事の後、湯を飲んで無病息災を祈願する。毎年10月2日曜日に行われる。

木田宮東16、木田駅より徒歩8分



⑭ 葛ノ葉稲荷社

古代寺院の篠田庵寺遺跡に鎮座し、和泉国信太(しのだ)から勧請されたと伝えられる。「恋しくば尋ねきてみよ和泉なる篠田の森のうらみ葛の葉」の碑が建立されている。

篠田稲荷17、木田駅より徒歩20分



⑦ 二十五菩薩お練り供養

蜂須賀弘法御開帳で知られ、二十五菩薩が現世に現れ、民衆を極楽浄土に導く様子を再現する伝統行事。毎年4月の第3日曜日に行われる。また、かつてお練り供養に使用されていた二十五菩薩面はあま市の文化財(彫刻)に指定されている。



蜂須賀大寺1352、青塚駅より徒歩11分



⑫ 木田の山車揃え

毎年10月2日曜日に木田の八剎社で行われる山車揃え。飾りつけた6台の山車を笛と太鼓で木田中を曳きまわし、八剎社に参詣する。

木田宮東16、木田駅より徒歩8分



⑮ 嫁獅子の里碑

白山社の境内に建立。嫁獅子は明治~大正にかけて盛んであった歌舞伎を取り入れた獅子芝居である。木折地区の嫁獅子一座は有名で、各地で公演を行った。

木折宮新境27、七宝駅より徒歩11分